

～TMC「がんばろうニッポン!プロジェクト」第1弾～
常設大画面向けLED大型映像装置の長期レンタルを開始
パブリックビューアーや大画面デジタルサイネージをサポート

東京メディアコミュニケーションズ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:秋山正樹、略称 TMC)は、パブリックビューアーやデジタルサイネージなどの常設大画面や、期間限定ショールームからブランドショップ向けなどに、フルカラーLED大型映像装置をレンタルする「TMC長期レンタル」サービスを2011年8月末から開始いたします。ファイナンス・リースに比べて新規導入やシステム改修時の初期投資を圧縮できるほか、ランニングコストが明確化するため、機動的かつ安定的な大型映像運用にお役立ていただけます。

すでに第一弾として、広告会社様とレンタル契約を締結し、都内大型映像媒体の画面リニューアルにご活用いただくことが決まっています。

<サービス開始の背景>

街頭のパブリックビューアーや大型デジタルサイネージは、今や生活に欠かせないメディアとなりました。今年3月11日の東日本大震災においては、帰宅困難者に大画面から随時、防災情報を届けるなど、安全安心に貢献する公益性の高いメディアとして発展を続けています。

一方で、震災を契機とした電力不足に対応するため、各パブリックビューイング事業者は、放映時間の短縮や放映輝度の引き下げなど、15%節電に向け最大限の努力を重ねています。また、地上波完全デジタル化にともない、ディスプレイや映像送出設備の改修に関するご要望も増えており、その経営環境は大変に厳しいものがあります。

こうしたなか TMC では、ディスプレイの新設や改修の負担を軽減する長期レンタルサービスを開始することにより、大型映像ユーザーの皆様に貢献してまいります。

<サービスの特長>

パブリックビューアーなどの大型映像装置導入においては、従来からファイナンス・リースが多用されてきました。一般的なファイナンス・リースと「TMC長期レンタル」のポイントを比較すると次のとおりです。

ファイナンス・リースとTMC長期レンタルの比較

ポイント	ファイナンス・リース	TMC長期レンタル
信用調査	リース会社の与信調査	TMC独自調査
設置工事費	要相談	レンタル料金に含む*1
メンテナンス費	別途(保守契約等)	交換部材費をレンタル料金に含む*2
契約期間	5～6年が標準的	3年～更新時1年
経費の損金算入	期間・金額による	全額可能

*1: 建築工事を除く *2: 修理作業費は別途

<導入効果>

○信用調査が簡便で迅速な調達が可能

リース会社による厳格な与信調査が不要です。TMCが合理的かつ簡便な独自調査を行うことにより、迅速な大画面調達が実現します。

○イニシャルコストの軽減とランニングコストの明確化

ディスプレイ導入時の大きな負担となる設置工事費（建築工事は除く）と、放映開始後の経営リスクとなるメンテナンス部材費を月額レンタル料金に含みます。イニシャルコストを軽減して導入のハードルを下げるとともに、ランニングコストを明確化して安定的な大画面運用に貢献いたします。

○契約期間が短く機敏な大画面運用が実現

初回のレンタル契約期間は3年〜とし、これ以降の更新契約では1年ごとの契約が可能です。パブリックビューアーの機動的なスクラップ・アンド・ビルドや、ディスプレイの陳腐化対応、期間限定型施設への大画面設置などにお役立ていただけます。

○レンタル料は全額損金算入が可能

レンタル料は、経費として全額を損金に算入することができます。お客様には減価償却の必要もありません。資産を保有することなく身軽な運用が可能です。

○運用オペレーションもサポート

ディスプレイのレンタルだけでなく、別途契約で、コンテンツ制作や映像送出などの運用オペレーションもサポートいたします。

<レンタル商品例>

ヒビノ株式会社製「Chromawall12（クロマウォール12）」。**※特長：別添資料**

<レンタル料金例>

	3年	6年
200インチ	750,000/月	500,000/月
250インチ	1,200,000/月	800,000/月
300インチ	1,500,000/月	1,000,000/月

※設置環境、送出システムなどにより価格は変動いたします。

<販売目標>

初年度 20台のレンタルを目標とします。

以上

本件に関するお問い合わせ

東京メディアコミュニケーションズ株式会社 ディスプレイ営業グループ 担当：志賀、寺田
E-mail: vrent@tmcinc.co.jp